様式例（法第28条第1項関係「前事業年度の事業報告書」）

令和4年度の事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

NPO法人　こすもす村

1　事業の成果

伊万里市の子どもを対象とした子どもの居場所活動①食を通して体を作る活動は、困窮世帯の支援として宅食で繋がる世帯数増・支援に繋げる成果が少しずつ見え始めた。②遊びを通して心を育む活動は、有田町での子どもの居場所事業を通して親子ワークショップ活動で、問題の顕在化した家族のみでなく、問題の潜在化した家族とも繋がることができることを確認できた。この経験は、伊万里市での活動のヒントとなった。③学びを通して未来を後押しする活動は、居場所を求めている親子（不登校・悩みを抱えている親子）と繋がることで、他機関と情報共有・支援対応の確認などを行う、ケース会議の参加など関係機関との連携体制を作る足がかりが出来た。

2　事業の実施に関する事項

(1)　特定非営利活動に係る事業

事業名（定款に記載した事業）	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額（単位：千円）
① 子ども宅食	：直接食材を届ける中で、貧困を見える化し、子ども達を守る支援に繋げる。 ：伊万里市見守り強化事業	(A)月1～2回程度 (B)伊万里市 (C)1名 従事者	(D)ひとり親世帯 (E)480人	880千 2884円
② 子ども食堂（多世代交流を含む）	：子どもを含む家族と、地域の中で食事を提供し、楽しい時間を過ごす活動を通して居場所づくりを行う	(A)なし (B)なし (C)なし コロナ状況にて開催なし	(D)0 (E)0	
③学習支援 生活支援事業	【個別支援】 ：放課後ほっとカフェ ：はじめの一歩 【集団支援】 ：子どものたのしい時間 （有田町居場所づくり受託事業） ：四つ葉のクローバー （県事業：困窮者世帯対象）	(A)週1～2回 (B)伊万里市 (C)3名 (A)月1回 (B)有田町 (C)6名 (A)週1回 (B)有田町 (C)1名	(D)小中学生 (E)300人 (D)小中学生 (E)174人 (D)小中学生 (E)59人	250千 (25万) 155千

④相談支援事業	：女性のほっとカフェ（県の受託事業） 女性に寄り添う支援の輪づくり事業	(A)月１回 (B)伊万里街中一番館 (C)４名	(D)女性（託児） (E) 64名	187千
⑤生活支援事業	：リユース（子供服お譲り教材・学生服リユース	(A)火曜休館日以外毎日 (B)伊万里街中一番館 (C)２名	(D)親子 (E)360	36千(場所代) /00円

(2)　その他の事業

事業名（定款に記載した事業）	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	事業費の支出金額（単位：千円）
①無		(A) (B) (C)	

※定款第５条に「その他の事業」を定めていない場合は、表を削除

（備考）

1　２は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。

2　２(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

3　「事業費の支出金額」欄は、活動計算書の「管理費」は含まない。